

ステキな恋愛をするために知っておこう

デートDV ってなに？

高校生用



宮城県

宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会

ケース1

高校生のハルナ(仮名)とトモヤ(仮名)の場合





ったく!



なんでこんなに
混んでんだよ!

日曜だから
仕方ないよ

イライラ



でも私
トモヤと一緒に
楽しいよ



俺はちっとも
楽しくない

ハルナが
遅刻してきた
せいだ



…ごめんね



もう
帰るわ

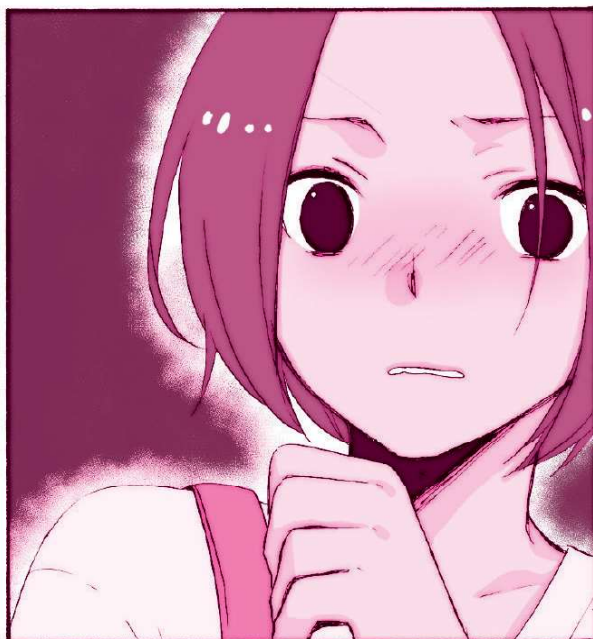
俺待つの
やだよ

そんなこと
言わないで!



うざいな!
離せよ!

はっ!!





さっきは
ごめん

ついカッと
しちゃって



本気じゃなかったの
わかるよな？

うん

私も悪かった
から…



俺ハルナのこと
マジ好きなんだ

私も好きだよ



だから
ハルナには
俺の好みの
彼女になって
ほしいんだ



私トモヤにこんなに
愛されてるんだ…

もっと気に入って
もらえるように
トモヤの言う通りに
しよう



楽しかったね



これから
ウチ来ない？

親遅いんだ



…うん！

うれしい！

トモヤの家に
誘われたの
初めて！

どんな部屋
なんだろう？



ケース2

高校生のケン(仮名)とエリ(仮名)の場合





アウェアうさぎ

アウェア (aware) とは英語で「気づく」という意味。デートDVが自分にも関係あることだって、みんなに気づいてほしいな。

マンガを見てどう思う？

交際しているハルナとトモヤ、そしてエリとケン。

この4人に起きているようなことが、皆さんの周りでも起きていませんか？

トモヤはハルナに自分好みの服装をさせたり、デート代を払わせたり、自分の機嫌が悪いのをハルナのせいにしてからだへの暴力をふるったり、ハルナが望まないことを無理強いしたりしています。

エリはケンの友人関係を制限したり、自分の気持ちをケンに押し付けたりして、ケンをびっくりさせて困らせています。



デートDVってなに？

トモヤがハルナにしたことと、エリがケンにしたことをどう思いますか？

トモヤとエリの行為は、相手を大切にしていない、傷つけて苦しめる行為です。この2組に起きていることは「デートDV」です。「デートDV」とは、付き合っている人に対する「心とからだへの暴力」のこと。暴力にはいろいろな種類があり、殴ったりけったりするからだへの暴力だけではないのです。

デートDVをしてしまう人の目的は、暴力をふるうことではなく、相手を思い通りにすることです。そのための方法として、いろいろな暴力を自分で選んで使います。それに気づかずにいると、結局、2人の関係を壊してしまうのです。からだへの暴力は相手が交際相手であっても暴行罪・傷害罪に当たる行為です。相手がいやがるのに性行為をするのは、強制性交等罪・強制わいせつ罪という犯罪になるのです。デートDVは交際相手の人権を侵害する行為だということに気づくことが大事です。

デートDVを知って理解し、デートDVをする人にも、される人にもならないようにしましょう。そして、どうしたらステキな交際ができるか考えてみましょう。



いろいろな暴力って、どんなこと？

「暴力」というと、皆さん、殴ったりけったりするからだへの暴力をまず思い浮かべるかもしれないですね。でも、からだへの暴力だけが暴力ではないのです。言葉での暴力や、精神的暴力や強い束縛、性的な暴力、経済的な暴力などいろいろな暴力があるのです。皆さんの間では、スマホを使って束縛することが多いようだけれど、それはデートDVのはじまりかもしれません。



からだへの暴力

- * からだをつかんでゆする
- * 押さえつける・突き飛ばす
- * 平手でたたく
- * 髪の毛をつかんで引っ張る
- * 相手に向かって物を投げつける
- * なぐる・ける・つねる・かむなど



強い束縛

- * スマホの着信やメールを勝手にチェックしたり、連絡先を消したりする
- * 友人との付き合いをさせない・制限する
- * しつこくメールして相手の行動をチェックする
- * すぐ返信しないと怒る
- * 服装を自分好みにさせるなど



言葉での暴力・精神的暴力

- * 見下したことを言う
- * 「デブ・ブス」などからだのことを言う
- * 「そんなことも知らないの?」「普通そうだよ!」などと言って決めつける
- * 繰り返し批判したり、否定したりする
- * なんでも1人で勝手に決める
- * 以上のようなことを言ったりしたりするのは相手のためだと言う
- * すぐ不機嫌になり、それを相手のせいにする
- * 無視する
- * 「自殺する」と言っておどす
- * 「秘密をばらす」とおどす
- * 怒って物に当たったり壊したりする
- * なぐるまねをしておどす
- * 皆の前で恥ずかしい思いをさせる
- * 「別れる」と言っておどす
- * わざと嫉妬させるなど

性的な暴力

- * 無理やりキスや性行為をする
- * 性行為に応じないと不機嫌になったり冷たくしたりする
- * 避妊しない
- * わいせつな写真や動画などを無理やり見せたり、撮影したりするなど

経済的な暴力

- * デート代を払わせる
- * バイトをさせる・やめさせる
- * お金をねだる
- * 借りたお金を返さないなど



デートDVって、どのくらい起きているの？



国が調べたところによると、これまでに交際相手があったことがある20歳代の人のうち、女性は26.3%、男性は12.1%がデートDVの被害を受けたことがあるという結果が出ているよ（2020年内閣府の調査）。

デートDVは交際している男女間だけでなく、親密な関係の同性間でも起きます。

デートDVは皆さんの身近な問題と言えますね。

どうしてデートDVするの？



デートDVをする人はこんなふうに思っていることが多いのです。

ちょっと
押しただけだよ

つき合っている
相手を最優先に
考えるべきだよ

ホントは怒りたくなんか
ないのに怒らせるんだから、
相手が悪いでしょ

だって自分は
正しいもん

言葉にしなくても、
自分の気持ちを
相手にわかってほしいよ

相手が悪いときは
暴力をふるっても
仕方ないでしょ

やっぱりカノジョは
カレシに従うべきでしょ

カレシなんだから
私を守るべき。
デート代を払うのは
当たり前

好きだから
独占したいし
束縛するのは
当たり前だ

好きだから何でも
受け入れてほしい

自分勝手に自己中心的な考え方ですね。



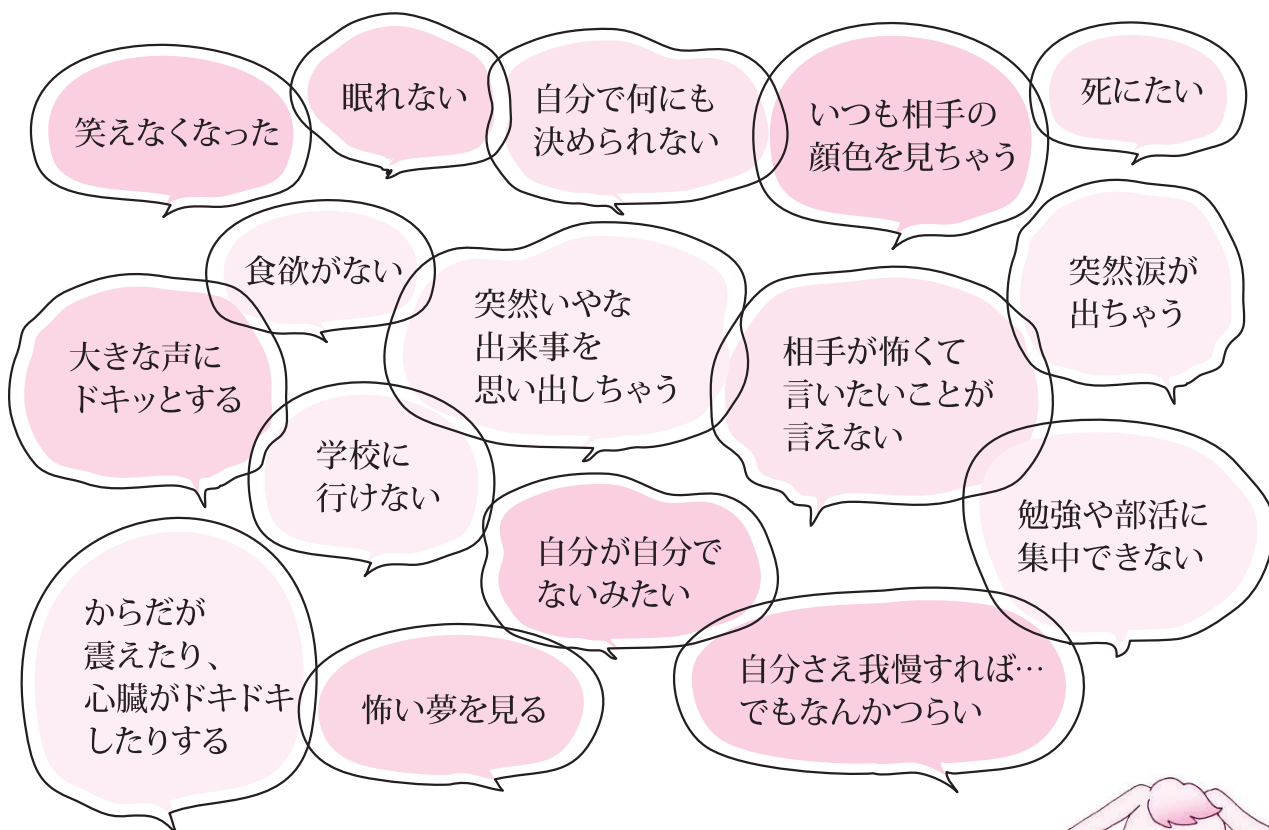
デートDVされている人はどうなるの？

漫画のハルナの気持ちを聞いてみましょう。

- *私のファッション、トモヤの言う通りダサいかも。自信なくしちゃった。
- *私のせいでトモヤが怒るから、きらわれちゃったかなってとても不安になる。
- *そんなこと言わないでとか、しないでとか、本当は言いたいけどつい我慢しちゃう。
- *トモヤのこと、怖いときがある。でも、あとでちゃんと謝ってくれるし、やさしいし、私のこと想ってくれてるんだと思う。やっぱりトモヤのこと好き!
- *セックスはまだちょっと…。でも断れないかも。怖いしきらわれちゃうかもしれないから…。



ハルナはトモヤが「怖いけど好き」と混乱しています。それに、自分が悪いとか、がまんしなくてはと思い込み、自分の考えや気持ちをトモヤにはっきり言えなくなっています。このようなことが続くとハルナは次のようになってしまいます。



デートDVは、相手にこんなに影響を与えて苦しめるんですね。



デートDVは、なぜ起きるのかな？

要因として、多くの人が、次のようなまちがった考え方をしていることがあげられます。

自分はどうか考えてみましょう。



●要因その1 力による支配

1つ目は、「力と支配」。社会には「力で人を支配する」ことがさまざまな形で起きています。例えば、夫婦の間での「DV」、親から子どもへの「児童虐待」、友だちの間での「いじめ」、先輩から後輩への「しごき」、会社での「パワハラ」や「セクハラ」など。「人を支配する」ということは、その人を1人の「人」として見ていないことで、その人をとても傷つけることなんです。

●要因その2 「女らしさ」「男らしさ」の思い込み -----

2つ目の要因は、多くの人が「女らしさ」「男らしさ」を気づかないうちに信じ込んでいることです。だから「カレシとカノジョ」の関係になると、次のようなことをお互いに考えたり、期待したりしがちなんです。

女の子⇒男の子

- *頼れるカレシでいてほしい
- *可愛く思われたい
- *彼の世話をしてあげたい
- *私が2人の関係をよくしなくては
- *私を守ってほしい

男の子⇒女の子

- *言葉にしなくても僕の気持ちをわかってほしい
- *2人のことは僕が決めでいい
- *僕を優先してほしい
- *世話してほしい
- *すなおで控え目でいてほしい

ダメダメ
ハルナはいつも
ダサいんだよ

俺の彼女
なんだから
俺の言う通りに



ドラマ、雑誌、漫画、歌詞、そのほかいろんなことを通じて、「こういうものだ」といつのまにか思い込んでしまうのです。このようなことを当たり前だと思っている2人が交際するようになると、最初のラブラブの関係がいつの間にか、主従の関係になってしまう。そういった関係をつくること自体がデートDVです。

●要因その3 暴力を軽く考える

3つ目は、「暴力はいけないことだけど、愛情や理由があれば暴力をふるっても仕方ない」というまちがった考え方です。学校やスポーツ界で「指導」という名の暴力が問題になっています。しつけのためにたたくことも必要だとか、やられたらやりかえせとか、悪いヤツはたたきのめせ、などと考える人もいます。皆さんの周りにはそう思っている大人もいるかもしれないですね。でもそれはまちがいです。

暴力は愛情ではない。教育やしつけでもない。問題解決の方法でもない。暴力は相手を傷つける行為で犯罪です。このことを忘れないでくださいね。

●要因その4 恋愛・交際についてのまちがった思い込み

4つ目は、「付き合うことはお互いに束縛すること」や「束縛、強要、暴力も愛情表現だ」という考えです。そのような考え方をしてしまうとデートDVをしても、されてもなかなか気づけない。束縛から暴力へとよくない状況が進んでも、付き合い続けてしまうことはよくあるのです。



Q&A それってどうなの？どうしたらいい？

次のような質問について一緒に考えてみよう。

Q1：付き合っているならお互いに束縛し合うのは当たり前のことでは？

A：“当たり前”とか考えるのはやめて、あらためて自分で考えてみよう。好きだから、付き合っている仲だからといって、相手の行動をしばったりするのは、不安だからではないかな。束縛は本当の愛情ではなく、支配のはじまりだよ。

Q2：きらいになって暴力をふるうのは？

A：暴力は2人の中が深まったとき始まることが多い。相手に甘えて、怒りという感情を、物に当たったり、不機嫌になったり、どなったり、暴力をふるったりすることで表しているんだ。それはまちがっている。暴力に言い訳はないよ。

Q3：好きな相手には、言葉にしなくても気持ちをわかってほしいと思うけど？

A：黙っていたら気持ちは伝わらない。態度や行動で気持ちをわかってもらおうという考えはやめよう。自分の気持ちはきちんと言葉で伝えようね。

Q4：付き合っているなら相手のスマホを勝手に見てもいいのでは？

A：それはプライバシーの侵害で、やってはいけないこと。相手の信頼を失うことになる。相手のプライバシーは大切にしよう。何か気になっているときは、相手を疑ったり、攻撃したりせずに、すなおに自分の気持ちを伝えることが大切だよ。



Q5：好きで付き合っているんだから、自分の言う通りに相手はしてくれるはずでは？

A：自分のことが好きかどうかを、自分の言いなりになってくれることで確認したくなるのかな。それは自分勝手に相手を大事にしない考え方だね。好きなら相手に合わせなくて、という考え方もやめよう。相手に合わせてばかりいるとだんだんつらくなるよ。対等・平等の関係ではないから、結局うまくいかないんだ。

Q6：好きな相手に望まれたら、セックスしなければならないのでは？

A：自分がどうしたいか、自分で決めることが大事。いやなときは「いやだ」ときちんと伝えよう。漫画のハルナのように相手に合わせていると、性行為についても自分で決められないよ。「いやだ」と言って相手が怒ったときは、大事にされてないということに気づこう。本当に相手を大切にすることは、相手の気持ちを大事にして、相手が決めたことを受け入れることだよ。

Q7：本当に相手が好きなら避妊しなくてもいいのでは？



A：中絶は女性のからだと心を傷つける。妊娠・出産・子育ては女性の人生を変えてしまうほど重大なこと。真剣に現実的に考えれば避妊しなくていいなんてとても思えないのではないかな。女性が妊娠したくないと思っているのに避妊しないことは、女性が自分自身を大事にしてないことだし、男性が相手の女性を大事にしていないことだよ。性感染症の危険もあるから、避妊はお互いを大切にするために欠かせないことだね。でも、もし予期しない妊娠の恐れがあったときは、72時間以内に産婦人科を受診してみよう。少しでも異変や不安があったらすぐに病院等で検査・治療を受けよう。

Q8：付き合っているふたりの気持ちや考えは同じでなければならないのでは？

A：皆それぞれ自分の考えや好みをもっているでしょう？ それらを否定されたくないよね。相手が自分とちがう考えや気持ちや好みをもっているから、付き合うのはおもしろいし、楽しいんじゃないのかな。

Q9：自分が正しいと思うと、どうしてわかってくれないんだと腹が立ってしまうけど？

A：自分が常に正しいとはかぎらないと考えよう。自分のやり方や意見を相手が受け入れてくれないと、自分が負けたと感じる人がいるけれど、そういう考え方はまちがっている。ちがいを「勝ち負け」ではなく、「ちがい」として受けとめよう。自分の気持ちは自分のもの。相手のせいにはできないよ。

Q10：ケンカとデートDVはどうちがうの？



A：お互いに言いたいことを言い合うのが対等な関係のケンカだよ。デートDVの関係では、どちらか一方が相手に暴力をふるったり、暴言をはいたり、強く束縛したりするんだよ。された方が「いやだ」と思っても、相手が怖かったり、さらわれたくないと思うと「いやだ」と言えないのがデートDVだよ。

ステキな交際をするために

次のことを覚えておきましょう。



● 相手を尊重する

「尊重する」とは、相手をありのままに受け入れ、認め、思いやり、大切にすることです。相手と自分に「ちがい」があっても、一方的に相手を否定したり、自分の考えや気持ちを押しつけたりしないことです。そして、相手が選んで決めたことを受け入れるということなのです。

● 「自分らしさ」を大切にする

「カノジョらしさ」や「カレシらしさ」で行動したり、ものごとを決めたりしていると、だんだん自分らしくなくなって息苦しくなります。「自分らしさ」を大切にしましょう。そして相手の「自分らしさ」を尊重しましょう。だれにでも、自分のことは自分で決める権利と力があるのです。

● けっして暴力をふるわない

「怒り」という感情を物に当たったり、不機嫌になったり、どなったりするような態度や行動で表わしたら、相手を怖がらせてしまい、きらわれます。どんな理由があっても暴力はけっしてふるわないと決めましょう。暴力以外の解決方法は必ず見つかります。



将来、付き合いたい人に出会ったら、お互いに話を聞き合う、気持ちに共感し合う、2人のことは話し合って決める、ステキな交際をしよう！

友だちへのサポート

皆さんにとって、相談相手は何といっても友だちでしょう。でも、友だち同士でデートDVを解決しようと思っても、難しかったり、危険だったりする場合があります。友だちが大人や専門家に相談（裏表紙にあるよ）できるように支えましょう。



●友だちがデートDVしていたら

*暴力を認めないこと。

「ついカッとなって」という言い訳を受け入れたりしないことです。暴力を認めることになってしまいます。はっきり「暴力はいけない」と伝え、暴力に代わる解決方法を一緒に考えましょう。

*暴力を否定しても、ふるった人の人格を否定しないこと。

人格に焦点を当ててではなく、とった行動に焦点を当て、いけないことはいけないとはっきり伝えましょう。

*デートDVされた人がどんなに傷つくか、一緒に考えよう。

●友だちがデートDVされていたら

*まず友だちの話をよく聞こう。

*「暴力をふるわれたあなたが悪いんじゃないよ」とはっきり伝えよう。

暴力をふるわれた人は、自分が悪いからだと考えて、自分を責めてしまいがちです。だから、この言葉はとても大切です。

*相談されたあなたが、何とか解決してあげなくちゃ! と考えない。

「信頼できる大人に相談したほうがいい」と伝えましょう。

*暴力の被害にあった友だちが、自分を守るために何かしよう、と自分で決めたら、それを応援しよう。

自分で決めることが自信につながります。



デートDV(DV)相談窓口

デートDVは、重大な人権侵害です。ひとりで悩まないで、ご相談ください。
相談は無料です。秘密は厳守します。また、友だちなどから相談を受けたら、
専門の相談機関があることを教えてあげてください。

●宮城県女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)-----

☎ 022-256-0965

受付時間 月～金曜日(祝日, 年末年始を除く)8:30～17:00
(または, 最寄りの県・市福祉事務所等へご相談ください。)

#8008で最寄りの配偶者暴力相談支援センターにつながります。

●DV相談+(プラス) (内閣府相談窓口)-----

☎ 0120-279-889 ※24時間受付

※チャット等でも受け付けています。



●みやぎ夜間・休日DVほっとライン-----

☎ 022-725-3660

受付時間 夜間: 木・土曜日(祝日, 年末年始を除く)17:30～21:00
休日: 日曜日(祝日, 年末年始を除く)13:00～17:00

●みやぎ男女共同参画相談室-----

☎ 022-211-2570

受付時間 月～金曜日(祝日, 年始年末を除く)8:30～16:45

※性別を問わず相談を受け付けています。

※毎月第2・4火曜日(12:00～16:00)は

LGBT(性的マイノリティ)相談を受け付けています。

毎週1回, 男性相談員による男性相談を実施しています。

☎ 022-211-2557

受付時間 水曜日(祝日, 年末年始を除く)12:00～17:00

●性暴力被害相談支援センター宮城-----

相談専用電話(けやきホットライン) ☎ 0120-556-460

受付時間 月～金曜 10:00～20:00

土曜 10:00～16:00(祝日年末年始を除く)

※女性相談員が対応します。土曜日は男性相談員による相談も行っております。

※性別問わず相談を受け付けています。



●警察への相談-----

☎ #9110 / ^{ハートさん} #8103 (性犯罪被害相談電話)

(または, 最寄りの各警察署へご相談ください。)

●仙台市「女性への暴力相談電話」-----

☎ 022-268-5145

受付時間 月・水～金曜日(祝日, 年始年末を除く)9:00～17:00

火曜日(祝日, 年末年始を除く)9:00～19:00

●仙台法務局「子どもの人権110番」-----

☎ 0120-007-110 (フリーダイヤル)

受付時間 月～金曜日(祝日, 年末年始を除く)8:30～17:15

●NPO法人ハーティ仙台-----

☎ 022-274-1885

受付時間 月～金曜日(祝日, 年末年始を除く)13:30～16:30

毎週火曜日(祝日, 年末年始を除く)18:30～21:00

※メール, チャットでも受け付けています。



●よりそいホットライン 10代20代の女の子のための電話相談-----

☎ 0120-279-226 ➡ 8

受付時間 毎週火・木・土曜日 16時～翌日4時

※音声ガイダンスが流れます。8を押してください。

■発行: 宮城県保健福祉部子ども・家庭支援課

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号 TEL 022-211-2633 FAX 022-211-2591

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kodomo/dv-taisaku.html>

■制作・著作権: アウェア ■漫画: 関静佳 ■デザイン: 宮部浩司 ■編集協力: 梨の木舎